

方針と重点	市の基本施策	学校の教育目標	資質・能力を育てたいとの関わり	基本施策	本年度新たな学校の重点	具体的な実践内容または観点 (手立てとしてどうか、または達成度はどうか)	評価 A S D	分析と改善点
方針・重点・郷土高山に根ざし、未来を切り拓くための資質・能力を育む	①深い学びを「地域生きた協働」で実現できる授業への挑戦 ②深い学びを「地域生きた協働」で実現できる授業への挑戦 ③深い学びを「地域生きた協働」で実現できる授業への挑戦 ④深い学びを「地域生きた協働」で実現できる授業への挑戦	ふるさとを愛し、夢に向かってたくましく生きる子	自分で考え、仲間（全校児童）と関わり自分から挑む子	学習づくり	① ○基礎基本を身に付け、「自分でできた」「伝えたい」を生み出す授業づくり	1) 学習規律、見通しをもった学び方の定着を図る。「自分でできた」といえる児童の割合90%以上をめざす。	A	◎児童アンケートで評価の高い項目 「やる気をもって授業に取り組んでいる」:100% 「できた・わかったを感じる授業」:98% ※学習に対して意欲的に取り組み、授業の終末に達成感・満足感を感じられる授業を行なっている。 △児童アンケートで評価の低い項目 「わからない・できないと言える」:87% ※児童の習熟度を把握し学習内容がわからないまま、授業が終わらない授業を進めていきます。
					① ○課題に対する自分の考えをもつ「一人学び」考えを伝え合う「仲間学び」の定着	1) 一人学びにおいて主体的に課題追及できるような手立ての工夫をする。 2) 仲間の考えと関わらせながら自分の考えを発言する場を位置づける。自分の考えを発言した児童の割合90%以上を目指す。	A	
					① ○ICT機器を効果的に活用する授業づくり	1) ICTの活用を100%にする。	A	
					② ○目標や願いをもち、達成に向けての道筋の明確化	1) なりたい自分や達成するための方法を定期的に振り返る。	A	
				生活づくり	② ○日常から、縦割り活動を生かしたピアサポートの展開	1) 縦割り掃除、全校朝の会を日常的に実施し、全校の誰とも関われる児童の割合80%以上を目指す。	A	
					② ○いじめを許さず、互いに認め合う規律と人権感覚の磨かれた集団の育成	1) 全教職員で個に応じた教育相談体制を構築する。	B	
					連携	④ ○中学校との連携の推進	1) 校区連携3つの柱(研究推進・道徳、生徒指導・特別活動、教育相談)を踏まえ、小中の教職員間の交流を充実させる。	A
				③ ○地域との連携		1) 地域(学校運営協議会・しとねる会・支所等)との連絡、つながりを大切にしたい安心安全な環境をつくる。	A	
				郷土	① ○9年間を系統立てた郷土教育の充実	1) 地域の方から郷土について学び、よさや課題について考える。地域が好きな児童の割合100%を目指す。	B	

学校運営協議会における主な評価内容

○学校アンケート(保護者、児童)の結果から、教育目標の達成に向けて概ね好評価をいただいた。
 ○その他のご意見として、「SNSに関する問題は保護者と連携して取り組むと良い。」「毎日顔を合わせる人以外にもあいさつができる」とよい。」など助言をいただいた。